

収蔵史料目録七の 発行のお知らせ

7月1日付で『収蔵史料目録七』を発行いたしました。今回の目録は「紀州藩士諸家文書目録」と題して軍学者宇佐美定祐文書・早川家文書・西山家文書・小川家文書・岡本家文書・大畑家文書の六家の文書を収録しました。軍学者宇佐美定祐文書は宇佐美家の由緒を考えるうえできわめて貴重な文書群を含んでいますし、小川家文書は従来あまり広く知られていなかった田辺安藤家の家臣の家に伝わった文書群で、幕末維新期の田辺の動向を解明するうえで万代記や田辺御用留の記述を補完するものです。

なお従来通りそれぞれに解題を付していることはもちろんですが、いくつかには利用の便を図るため、分類目録以外に現状目録や編年目録・整理番号順目録をも収載しています。

『和歌山県立文書館紀要』 第12号の発行のお知らせ

3月末で『和歌山県立文書館紀要』第12号を発行しました。今回の紀要では平成17年度で事業としては終了することになった「民間所在資料保存状況調査結果報告」及び「民間所在資料等防災システム構築」事業の中間報告のほか論文3、史料紹介1等を掲載しております。詳しくは県立文書館ホームページをご覧ください。

パネル展示の お知らせ

県立文書館では三ヶ月ごとにパネル展示の展示替えを行っています。7月1日からは『紀伊国名所図会等』にみる今昔シリーズの第8回目として、「名所図会に描かれた和歌山城」と題したパネル展示を行っています。

現代的な考え方から言うならば、和歌山城は和歌山市の第一の観光スポットですから、本来初編の巻一に登場してもおかしくはないように思われるかもしれませんが、時代が時代ですから城郭の内外を詳細に描くことには非常に大きな制約があったはず。ところが『紀伊国名所図会』の後編には10枚もの図があります。しかもそのほとんどが天守閣に通ずる入り口にあたる諸門の図です。

とりわけ驚くべきことは城の内部も内部でほとんどの庶民が入ることすらできない「鶴の溪」が描かれている点です。名所図会というものは確かに観光ガイドブックではありますが、ここまで城を描いているのはきわめて稀な例だと思われる。

今回はそのうちの6枚の図に描かれた場所について、名所図会と昔の絵はがきや写真とその場所の現在の姿とを対比させながら景観の移り変わりを解説しています。

なおこの展示は一階エントランスコナーの階段部分と文書館に通じるロビーで九月末までご覧いただけます。

文書館の利用案内

■利用方法

●閲覧室受付にある目録等で必要な資料、文書等を検索し、閲覧申請書に記入のうえ受付に提出してください。文書等利用の受付は閉館30分前までです。

●閲覧室書棚に配架している行政資料、参考資料は自由に閲覧してください。複写を希望される場合は、複写承認申請書に記入のうえ受付に提出してください。複写サービスは有料です。

■開館時間

●火曜日・金曜日

午前10時～午後6時

●土曜日・日曜日・祝日及び振替休日

午前10時～午後5時

■休館日

●月曜日（その日が祝日又は振替休日と重なるときは、その後の平日）

●年末年始（12月29日～1月3日）

●館内整理日

1月4日（その日が月曜日のときは5日）

2月～12月 第2木曜日

（その日が祝日と重なるときはその後の平日）

●特別整理期間 10日間（年1回）

■交通のご案内

和歌山バス高松バス停下車徒歩約3分
JR和歌山駅からバスで20分
南海電鉄和歌山市駅からバスで20分



◇ホームページアドレス◇ <http://www.wakayama-lib.go.jp/monjyo/>

和歌山県立文書館だより 第21号
平成19年7月31日 発行
編集・発行 和歌山県立文書館
〒641-0100 和歌山市西高松一丁目七-三八
きのくに志学館内
電話 〇七三-四三六-九五四〇
FAX 〇七三-四三六-九五四一
印刷 有限会社隆文社印刷所